

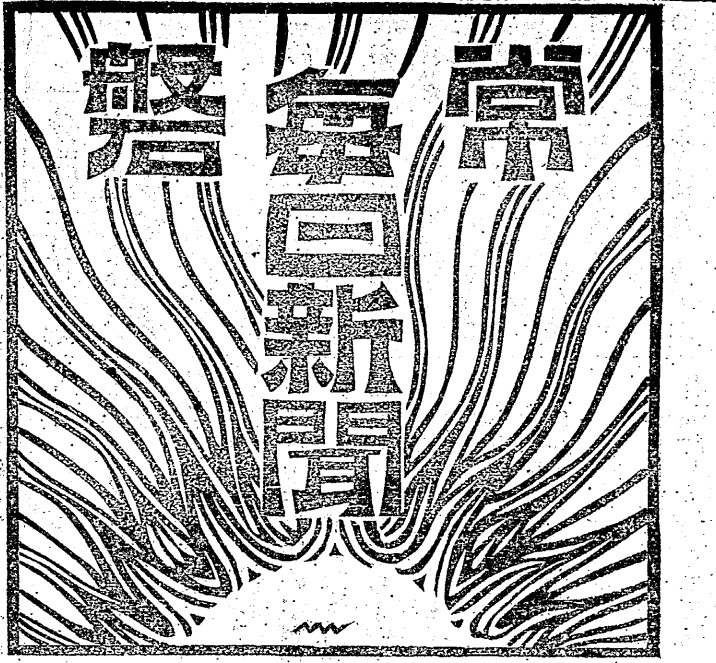
常磐文藝  
ある日 生田耕人

大そう寒い秋の日だ  
にわでひよこがびよ〜  
鳴いてゐる  
猫か犬が来たのぢやない  
か  
行つて見れば  
猫も犬も来はしない

□募集 文藝其他一般  
投稿を歓迎します  
ひよこが六羽、親のほら  
から  
顔だけ出して  
日向ぼっこをして居つた

せとで何かびよ〜鳴い  
てゐる  
窓からせとをのぞいて見  
れば  
まだらのある  
青い小鳥が歩いてゐた  
小鳥はにげてとんで行つ  
た  
どこへ行つた西のはての  
杉の木  
すてつべんにとまつてゐ  
た

價定  
一部金貳錢 月極  
ニ限リ一ヶ月卅錢  
料告廣



刊夕日四廿月一十

# 大谷石

本月十五日より産地約一割五分値上斷行  
の處當社現在持合分に限り値上前の値段にて  
差上可申此際至急御下命被下度候  
這般震災地未曾有の大試験に於て「フルマーク」を  
以て通過したる我大谷石は耐火耐水耐寒  
耐壓耐碎且吸水量最少なく加工  
容易なる等有らゆる點に於て他石材の遠く及ば  
ざる處最早世界無比の榮冠を戴くに至  
り  
最近彼の有名なる「ライト博士」が實用装  
飾兼備の良材として「帝國ホテル」を  
之を以て築き上げたる蓋偶然にあらず斯くして今  
後需要激増に伴れ益値上の趨勢に在り何  
卒茲旬日に迫る絶好機を逸し賜はず御買上の程願  
上候

磐城建物株式會社  
平五丁目 電話五一八番

平町字田町  
（電話一四四番）  
磐城病院

平町字田町  
（電話五一三番）  
高久病院

平町字南町  
（電話一〇七番）  
松村病院

平町字田町  
（電話四七五番）  
赤心堂病院

松島水上養魚場の養殖した  
カキ貝の取次店を開始しま  
した極めて廉價に販賣しますから御  
最買の程願ひます  
カキフライ一枚廿錢  
カフエー、タヒラ  
平町紺屋町住吉屋本店前

製材機械、人魚印丸鋸  
自動注油メタル、プーリー在庫  
ゴムベルト、バラタベルト  
平町月見町

佐藤鐵工所  
電話三六二番

## 株式賣買中値

左記の値段は本日の標準値  
に付御用の節は御問合願候  
銘格 拂込 時價

磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	六八〇
磐越銀行	一一五	一〇三
磐城實業	三〇〇	二七〇
田村實業	一一五	一二五
四倉銀行	一一五	一二五
農工銀行	二〇〇	二五五
同 新	一五〇	一九〇
白七銀行	五〇〇	五三〇
同 新	一一五	一四五
七七銀新	一一五	九五
郡山電氣	五〇〇	三八〇
同 新	二五〇	一七五
只見川電	一一五	六三
植田水電	一一五	一三五
好間水電	一一五	一三五
磐城建物	一一五	四七
磐城製菓	二〇〇	六五
平信託	五〇〇	四九〇
磐城勸業	一一五	一三五
磐城物産	三〇〇	二五〇
平製水	二〇〇	二二〇
好間軌道	五〇〇	三五〇
小名商學	一一五	...
小名水産	一一五	...
小田炭礦	二五〇	五〇
磐城炭礦	五〇〇	三七五
同 新	二二五	一五〇
磐城セメ	五〇〇	九一〇
同 新	一一五	三三〇

丸登株式會社  
川添房一郎

## 余の一日 (五)

社長 川崎文治  
通して朱筆を入れホット二  
息ついた時に工場では大組  
みに掛かる、紙面の体裁に  
大なる關係のある事である  
から是れも一々工場へ行つ  
て大組みを覗みながら種々  
の注文を職工諸君に納得し  
て貰はねばならない、大組  
みの出来上る頃には既に夕  
方である、夫れから機械係  
の手に依つて印刷される事  
となるのであるが其間に詰  
め掛けた配達係の少年達が  
前日の配達状況を聞き取  
つて新購讀者や擴張の部署  
を指圖する、其處で印刷が  
全部済んだとすると、今度  
は本紙を一刻も早く讀者諸

産の家に訪れしむべく配達  
係と一處になつて紙を疊む  
、配達係の飛び出すのを待  
つて後仕末を告げ、家路を  
急ぐのは午後七時頃、へ  
ト〜になつて家に歸る、  
体が第一の資本であると思  
ふから營養物を多量に詰め  
込んで漸く人間らしい心持  
になるが夫れで其日の仕事  
が終つた譯ではない、是れ  
から平町以外の諸君諸君に  
向つて本紙を送すべく帯  
封を書く、夫れが終つて今  
書いて居る様なものや廣告  
面の仕末、投書類の整理や  
諸帳簿の記入を勵む、城山  
の十時の鐘がゴーンと鳴る  
ザットこんな調子である  
(續)

### 一分間二百語を受くる 神速な無線電信の働き

#### 富岡受信所の模範的装置 對米通信状況は益々激増

一瞬時にして數千哩海外からの飛電を齎し得る双葉郡富岡町の無線電信受信局に本年四月十九日据え付けられた米國ニューヨーク無線電信局技師クレーンベルグ博士の最近考案發明にかゝる高速度受信機は一分間に三百語を受信し得るので従前よりは約三倍の能率を發揮し尙ほ從來の据付け自動印刷機タイプライターは米國シカゴのウエヌターイルケトレス

#### 處決を迫る 増徒總會協議

平町菩提院にては住職桐原英純氏を中心として常に物

#### 湯の嶽の中腹にて 獵銃自發し狩人傷く

##### 兩足や股間に散弾命中

石城郡湯本町入山炭礦川平坑々夫五十嵐新三郎(三五)は廿三日午前六時三瓶正入と共に湯の嶽にて狩獵を爲し中腹にて所持せる村田銃を小枝に掛けて休息中風の

#### 氣分を本位にした 樂の音の旋律床し

##### 曉から夜半の情景を描く 著女校の音楽演奏會

地方好樂家の血を湧かせずには置かない磐城高等女學校友會主催の音楽演奏會は既報の如く廿五日午前九時より同校講堂に於て左の番組に依つて催される筈であるが流石は田中教諭が心血を注いで準備しただけに番組の順序等も曉から

#### 眞面目な 性慾問題

只彫刻の方では陰部の毛を遠慮して現はさないと云ふのである、若しそれ寫眞は美化されて居ない、従つて實感的分子が多いからいけないと云ふのである、それは況や本物の裸体であつては、それが如何に理想的美体であつても、是を藝術品として公衆の鑑賞に訴へる事は不可能である。即ち山川草木の自然美は是を讚美することが出来ない云ふ事になる。考へやうによつては窮屈な制限である。然し民衆の感覺が未だ裸体を觀賞する迄鈍感されて居ないといふ世の中で一般公衆に向つて性器官の解剖を説くのは中々六ヶしい。醫學者的見地からの女性觀察は只に皮膚外形にのみ止まる事を許されぬ、皮膚の下に腺、内部に藏された器官をも取り出して其形体を究め、其微細な構造を窺ひ、其の機能を明にせねばならぬ、而して美醜を超越した女性の眞實な生命を掴む事にある(續)

#### 不平受付

配達の言葉(私)私は三文店の主人公ですが郵便配達するが私の家に郵便を配達する時必らず「誰々の家はコツチかあ」と私の名を呼び捨てにします、餘りに人を侮辱した横柄な態度だと思ひますが直せないものでせうか(三文主人)

森郵便局長の答……夫れは甚だ失禮しました、配達夫が特に貴方を侮辱する積りで云ふのではなく言葉が粗末な爲め遂に御立腹を招くのです、當方でも今後注意を怠りませんから尙ほお氣付きの點をた知して下さい

#### 常磐片々

平町に大地震ありと甚だしく流布さる  
斯かる流言を放つて人心を惑はす者は西の海に叩き込め  
某基督教會傳道説教の宣傳ビラに「入場無料」とあるは人を食つたカタチ

お待兼ねの澤モリノ鑑本日  
聚樂館に開演、震災の餘得  
裁判所が被告を呼び出すに

#### 湯火の見櫓

基礎工事中  
石城郡湯本消防組にては鐵骨火の見櫓を建設せんが爲め廿一日から木村組頭、井坂小頭等指揮の許に毎日廿名宛の消防手出勤基礎工事

#### 盲生の謝状

昨日の訓盲院  
既報平町警城訓盲院同窓會は昨廿三日創日記念日を卜して午前十時より開會盲生諸君の演説や協議があつて晝食後理事梅崎安由氏に對する表彰式に移り記念品を贈呈し本社長川窪文治の「眼より耳への文化」と題する講演あり薩摩琵琶、尺八等の餘興に一日の歡を盡し午後四時散會した因に梅崎理事に對する同窓會員の謝状は左の如くである

#### 雄辯青年

聚樂館にて  
既報石城郡下青年雄辯大會は昨日午前十時より神谷辯論會主催にて聚樂館に開催辯士卅餘名の獅子吼あつたが審査の結果受賞者左の如く決した

(一等)磐中吉崎勝男(二等)同加藤隆(三等)佐賀宗像宗彦(四等)青學増日幸三郎(五等)磐中根本軍川寛

#### 雄辯青年

取消 貴社發刊大正十二年十一月廿一日常磐毎日新聞第十七號御掲載被成た拙者等に関する記事は大分事實とは相違して居るのです夫れに此件に付ては拙者等兩名の間に了解され居る事勿論損害等も掛けも掛けられて居らぬので甚だ迷惑の様を感じられます是れは新聞紙法第十七條に該當する事項の様に思はれますから此全文を掲げ御取消をして下さい大正十二年十一月廿一日平町田町清野音吉平町舊城跡瀧川寛

司(六等)同箱崎壽一(七等)大浦鈴木己重(八等)草野富岡武男(九等)大浦酒井龜吉(十等)同箱崎茂重